

食品に関するリスクコミュニケーション
「牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直しに係る食品健康影響評価について」（8月1日 大阪）
参加者アンケート集計結果

参加者数	：	57
アンケート回収数	：	50

問1. あなたご自身のことについてお聞きます。

(1) 性別

回答内容	件数	割合
1. 男性	26	52.0%
2. 女性	24	48.0%
無回答	0	—
計	50	100.0%

(2) 年齢

回答内容	件数	割合
1. 20歳未満	0	0.0%
2. 20歳代	2	4.0%
3. 30歳代	4	8.0%
4. 40歳代	14	28.0%
5. 50歳代	12	24.0%
6. 60歳代	15	30.0%
7. 70歳代以上	3	6.0%
無回答	0	—
計	50	100.0%

(3) 職業

回答内容	件数	割合
1. 主婦（夫）	6	12.2%
2. 会社員（食品・農業関係）	10	20.4%
3. 会社員（2. 以外）	4	8.2%
4. 自営業（食品・農業関係）	1	2.0%
5. 自営業（4. 以外）	1	2.0%
6. 学生	0	0.0%
7. マスコミ関係	0	0.0%
8. 公務員・非営利団体職員	22	44.9%
9. その他	5	10.2%
無回答	1	—
計	50	100.0%

その他（）

商業施設勤務
消費者NGO
食品製造コンサルタント
大学非常勤講師

(4) 意見交換会開催情報入手方法

回答内容	件数	割合
1. 食品安全委員会ホームページ	10	20.0%
2. 食品安全委員会からのご案内資料	6	12.0%
3. 食品安全委員会メールマガジン（e-マガジン）	15	30.0%
4. 自治体からのご案内資料	11	22.0%
5. 関係団体からのご案内資料	2	4.0%
6. 知人からの紹介	3	6.0%
7. その他	3	6.0%
無回答	0	—
計	50	100.0%

その他（）

外食イベントブース
大阪府食の安全安心メールマガジン
食品安全エクスプレス（農水省）

問2. 本日の意見交換会全般についてお聞きします。

(1) 本日の意見交換会に参加した目的

回答内容	件数	割合
1. パブリックコメントの提案の参考にするため	0	0.0%
2. 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直しに係る評価結果に興味があった	18	39.1%
3. 牛海綿状脳症（BSE）国内対策に興味があった	4	8.7%
4. 食品の安全性について知識を得たかった	10	21.7%
5. 専門的な内容について、分かりやすい説明を聞いたかった	4	8.7%
6. 疑問のある点について質問したかった	0	0.0%
7. 専門家・他の参加者と意見・情報の交換をしたかった	0	0.0%
8. 業務上必要だった	10	21.7%
9. その他（具体的に）	0	0.0%
無回答	4	—
計	50	100.0%

(2) 満足度

回答内容	件数	割合
1. 十分満足した	2	4.4%
2. ほぼ満足した	38	84.4%
3. あまり満足できなかった	5	11.1%
4. まったく満足できなかった	0	0.0%
無回答	5	—
計	50	100.0%

(3) 「あまり／まったく満足できなかった」と答えた方に伺います。

満足できなかった理由（具体的に）

なぜいま、見直しなのか？という、そもそも論がうすい気がする。

今後のスケジュールを示して頂きたかった。
説明の文言が専門的で一般消費者にはわかりにくい
飼料輸入国や検査費用など、資料が公開されればはっきりできそうなことについて、あいまいな答えであったのが不満でした。後日HPで明らかにする、事前に質問を募集しておく等の対応をとるべきではないでしょうか。
司会の方が質問に答えるのはどうかと思う 対応の方が来られているのだから。
発生確率がいかに低くとも発症すれば重とくな状態になる場合、それを発見できる手段（検査）をはずすことは妥当なのだろうか。何百万人に一人発症、これを防止するために巨額の費用がかかる。それよりもっとやらなければならないこと、例えば腸管出血性大腸菌対応にお金をかけて何百万人の方がなくなるのを防ぎます、とした方が良いのでは？
多くの消費者が持つであろう不安について、明確な訴求が伝わらなかった。

(4) 本日の意見交換会の進め方について

a. 意見交換会の進め方

回答内容	件数	割合
1. 良い	9	20.5%
2. おおむね良い	34	77.3%
3. あまり良くない	1	2.3%
4. 良くない	0	0.0%
無回答	6	—
計	50	100.0%

b. 配布資料の分かりやすさ

回答内容	件数	割合
1. 分かりやすい	23	46.9%
2. やや分かりやすい	18	36.7%
3. やや分かりにくい	8	16.3%
4. 分かりにくい	0	0.0%
無回答	1	—
計	50	100.0%

問3. 本日の意見交換会の内容について理解できましたか。

回答内容	件数	割合
1. 十分理解できた	14	30.4%
2. ほぼ理解できた	30	65.2%
3. あまり理解できなかった	2	4.3%
4. まったく理解できなかった	0	0.0%
無回答	4	—
計	50	100.0%

問4. 本日の意見交換会に参加される前に疑問に思っておられたこと等は明確になりましたか。

回答内容	件数	割合
------	----	----

1. とても明確になった	7	15.6%
2. ほぼ明確になった	32	71.1%
3. あまり明確にはならなかった	6	13.3%
4. まったく明確にならなかった	0	0.0%
無回答	5	—
	計	50
		100.0%

問5. 本日の意見交換会に関するご意見をご自由にお書きください。

<p>今回質問させていただき、農水省のホームページに記載されているとうかがいましたが、一般ではなかなかHPを開くことはないと思います。せっかくですので「健康・・・」等、開きたくなるようなネーミングでやっていただくと、もっと一般に活動の主旨が伝わると思います。</p>
<p>BSE発生からずっと消費者としてリスクミに参加してきました。とりあえず国産牛肉のBSEリスクがなくなったことに、食品安全委員会が役割を果たされたことは評価します。輸入牛肉に関しても信頼を取り戻せるようになるよう情報提供をお願いします。</p>
<p>徐々にBSEの学習会に参加して、BSEが大問題になり学習会に参加して、頭の中が大パニックになり、必死だった事を思い出しました。学ぶことで、歴史と現状を知る大事さを実感。</p>
<p>食品の安全と安心を混同している（一般消費者は）。安全委員会としては、この点の違いを明確にされた方が理解を得やすいと思う。</p>
<p>消費者の方はリスクゼロを求めている。すべての物においてリスクゼロはないし、リスクゼロをうたうような商品をもてはやす風潮はとても危険だと思う。マスコミ等は知識のある人がまともな報道をしてほしい。</p>
<p>ゼロリスクに関する質問は、どこの会場でも提出されるように思います。回答方法をあらかじめ用意しておいたほうがよいと感じました。回答はひと通りではなく、質問者がどのような背景をもってきているかに応じて使い分けの必要があると思います。食品安全委員会は国の要請を受けてリスク評価を行っているとありましたが、逆に、「このようなリスク評価が必要なのではないか」という提案もできるのであれば、国民からの信頼がさらに得られるのではないかと思います。</p>
<p>本資料のシート32、シート33で説明があった2歳以上の中100万頭当たりの発生率の計算式がよくわかりません。おしえてください（メールアドレスの記載あり）。初歩的なことですが、よろしくお願いします。※この質問については意見交換会終了後、対応済み。</p>
<p>①本日使われたパワポ資料は、委員会のHPにUPしてください。 ②大阪市などの自治体が独自に全頭検査していると聞いています。国の規制や点検が緩むと地方自治体にも影響すると思います。ほんとうに慎重にしてください。 （問2の「配布資料の分かりやすさ」に関して）ポインターが発色していなかったもので、説明の内容を自分で判断しながら聞いていた。事前によくチェックして下さい。</p>
<p>原因 分析 対策を明確にされていることが認識できた。食品の流通、経済効果、消費者、食生活と重要な管理を引き続き願いたい。</p>
<p>HACCP、ISO等、色々管理基準が違って、何で一本化するか明確にしてほしい。クロイツフェルトヤコブ病は0なのではないでしょうか。</p>
<p>とても理解しやすかったです。</p>
<p>一般消費者として国産牛は安全という思いがありましたが、検査が廃止されると・・・という思いです。本当に大丈夫なのでしょう。</p>
<p>不明な点を再度お聞きする機会はないので、前項でも書きましたが、資料がないので…というあいまいな答えは、不安感をあおるだけだと思います。もう少し何か工夫をしていただければと思います。</p>

2002年より全頭検査をするという安全安心の検査制度を作り、実施されてきたわけですが、検査費用、体制、人件費など莫大な金額が使われているとのことですが、北海道の獣医師の方がBSE検査をしているのでその仕事から解放され、その労力をHACCPのほうに力を入れることができるという話もされましたが、基本的にはもっと獣医を増やす、食品衛生監視員等を増員して、この制度を残しておくべきではないか。予算が削減されると、次に事故が起きた時、すぐに検査体制がとれるのか不安である。やはり輸入牛肉が心配になりますね。

BSE見直しと牛トレーサビリティ法の方向性に関し、知っておきたい。

農水省の放射能のリスクコミュニケーションは大阪ではしないとのことだったが、できるだけ同じように大阪または近辺で行ってほしいと思います。

国内対策を緩和する、具体的な根拠や経緯についてが分かりやすく示されており、とても理解が深まり、興味深かった。消費者が輸入牛についても、とても懸念をもっている事を知ることができた。

ありがとうございました。

寒い。室温設定は？